

# とやまの獅子舞

富山県教育委員会



# はじめに

県教育委員会では昨年度から『とやまの文化財百選』事業を行っています。

これは県内各地に残る身近な文化財を対象に、郷土の誇りとして末永く受け継いでいきたいものを選定して、県民の皆さんが、ふるさとの文化財の価値を再認識し、地域ぐるみで保存・活用していくきっかけにさせていただくことを目的とした取り組みです。今年度は昨年度の「土蔵」に続く第2弾として、全国でも屈指の伝承数を誇る「獅子舞」をテーマに、『とやまの獅子舞百選』として選定を行いました。

このガイドブックは、とやまの獅子舞の特徴や魅力とともに、選定された獅子舞について紹介したものです。

祭礼や行事のなかで、心を躍らせ、また心を結ぶ絆として、県内各地で親しまれ、継承されてきた「獅子舞」。その一端をご覧いただき、身近な文化財である獅子舞について、さらなる理解と愛着を深めていただく手がかりとなれば幸いです。

## 目次

1	獅子舞の里・とやま	1	7	『とやまの獅子舞』百選	
2	獅子舞と祭り	1		新川地区	6
3	とやまの獅子舞の特徴	1		富山地区	13
4	獅子舞の起こり	1		高岡地区	22
5	獅子舞の形態	2		砺波地区	43
6	獅子舞の見どころ	4		『とやまの獅子舞』百選マップ	56
				『とやまの獅子舞』百選一覧	58

『とやまの獅子舞』百選は、主な特徴から以下のマークで分類してあります。



水見獅子



五箇山獅子



砺波獅子



福光獅子



射水獅子



金蔵獅子(二頭型)



金蔵獅子(一頭型)



下新川獅子



越後型神楽獅子



行道獅子

# 1 獅子舞の里・とやま

春。雪解けを待ちかねたかのように、村社から笛の音が聞こえる。豊作を祈念して、賑やかな獅子が家々を廻る。

秋。五穀豊穡に感謝して、花笠で飾りつけた踊り子とともに、大きな獅子がリズムカルに飛び跳ねる。

住民は、獅子を持つ頭持ち、胴幕を支える獅子方、舞を舞う獅子あやし、笛や太鼓などの囃し方を分担し、地域の宝として獅子舞を守り伝えている。



高岡市戸出伊勢領の百足獅子

神社に奉納した後、氏子の家々で獅子舞を舞わす。氷見市の百足獅子では、20を超える演目を持つものもあり、役宅や吉事の家では豪華な舞を振舞う。夜を徹して獅子が舞い、明け方の「獅子ごろし」で終わる。二人立ち獅子でも、獅子あやし役が、槍などの武器で獅子を退治する。

獅子は、神秘的な力をもった霊獣であり、降臨した神の露払い役であり、また、害獣も演じる。とやまの獅子は多忙である。

## 2 獅子舞と祭り

とやまの獅子舞は春祭りが秋祭りで演じられる。江戸時代の中期までは、神輿の渡御の露払い役であった。魚津市小川寺地区

の祭礼では、現在でも白山社の神輿を先導する。

春祭りの獅子舞は氷見市と小矢部市の市街地、五箇山の里山、神通川の流域に、秋祭りの獅子舞は氷見市と南砺市の里山、砺波平野、下新川一帯に集中する。

江戸時代後期には経済が安定し、民衆の娯楽が定着する。明治時代には、隔々の村々まで浸透し広がる。獅子舞は最も親しまれた庶民の芸能であった。

## 3 とやまの獅子舞の特徴

とやまの獅子舞には次の特徴がある。

- 芸能獅子舞ぎょうどうと行道獅子の両者が伝承
- 百足獅子と二人立ち獅子が存在
- 百足獅子は独自の演目を構成
- 二人立ち獅子には多様な獅子あやし

## 4 獅子舞の起り

飛鳥時代に百濟から伝来したとされる獅子舞は、社寺の様々な行事に採り入れられ、霊獣ライオンの悪魔祓いとして日本人に受け入れられた。

江戸時代には伊勢代神楽いせだいかくらの芸能集団も誕生し、日本を代表する民俗芸能として、津々浦々に定着した。



三重県伊賀市敢国神社の獅子神楽

## 5 獅子舞の形態

### 【氷見型百足獅子】

氷見市とその周辺に分布する。烏帽子を被り、狩衣、禪、胸当姿の天狗が獅子あやしとなる百足獅子で、胴幕は5、6人の獅子方が素手で高く支える。リズムカルな演目が多く、シシゴロシで終演する。また、曳山のような太鼓台が特徴。



(氷見市早借)

### 【五箇山型百足獅子】

氷見型の獅子が、五箇山や旧城端町周辺を中心に分布するもの。大型の百足獅子で、胴幕を張る竹の輪は左右の二人の10名程で支えられ、巨大な胴部となる。獅子あやしは子どもがシシトリボウを手にして演じる。



(南砺市下梨)

### 【砺波型百足獅子】

砺波平野一帯に分布する。胴幕に竹の輪を入れた大型の百足獅子である。二人一組の子どもの獅子あやし(シシドリ)が、棒や薙刀などの武具を主体とした採り物を用いて、リズムカルに演じる。



(砺波市苗加)

### 【加賀型百足獅子】

金沢に隣接する南砺市の旧福光町市街地の獅子舞。胴部を竹の輪で大きく膨らませた百足獅子で、胴幕は動かず、胴幕に麻縄などで繋がれた獅子頭だけが上下左右に舞う。獅子あやしは棒などの採り物で武道系の演目を舞う。



(南砺市天神町)

### 【射水型百足獅子】

射水平野から神通川左岸の地域に分布する。獅子方は素手で胴幕を支え、百足獅子を膨らます。シャグマを被った天狗や、花笠を付けた二人一組の子どもの様々な採り物を手にして獅子に対する。



(射水市堀岡新明神)



(富山市鏡町)

### 【二頭型金蔵獅子】

神通川流域の富山市南部地域に分布する。二人立ち二頭型の獅子で、飛騨の金蔵獅子が伝播したもの。獅子あやしは子どもが、キンゾウ、オドリコ、ササラ、サンバサなどを演じ、多様な採り物を用いる。



(富山市富崎)

### 【一頭型金蔵獅子】

神通川中流域の里山地域に分布する。二人立ち一頭型の金蔵獅子である。子どもの獅子あやしはシシウチと呼ばれるキンゾウで、御幣や槍などの採り物を持つ。



(宇奈月町内山)

### 【下新川型天狗舞獅子】

下新川郡を中心とする県東部地域に分布する。一頭の二人立ち獅子で、太いタスキをかけた8名から16名もの大勢の天狗が獅子あやしとなり、傘や酒樽の採り物を用いる演目をこなす。



(朝日町笹川)

### 【越後型神楽獅子】

朝日町の県境地域に分布する。一頭の二人立ち獅子で、頭持ちは獅子頭をすっぽりと被る。左手に御幣を持ち、腰に木刀をさす。尾持ちはねじった胸幕の尾を首に巻いて持つ。一人の天狗が獅子をあやす。



(魚津市小川寺)

### 【行道獅子】

神輿行列などの露払い役として、古い箱型の獅子頭が練り歩く祭礼が存在する。中世の行道獅子の流れで、高岡市伏木氣多神社の祭礼、二上射水神社の築山行事、魚津市小川寺地区の祭礼、下村加茂神社のやんさんま祭、立山町の浦田山王社の祭礼などでみられる。

## 6 獅子舞の見どころ

### 【胴幕(カヤ)】

麻が厚手の木綿に手書きの唐獅子模様などが大きく描かれる。五箇山獅子や砺波獅子に竹製の輪がとおされて丸く膨らまされる。氷見獅子では両手で支えるための穴が設けられる。

### 【2種類の獅子頭】

多くの獅子頭は鼻が正面に大きく座り、丸く大きな目玉と写実的な歯並びで、概ね立方体に成形される。鮮やかな黒・赤の漆や銀色で彩色される。

もうひとつは箱獅子とよばれるもので、頭の頂部と鼻の高さがほぼ同じで、鼻が長く、目玉が大きく上を向き、粗い歯並びで、長い箱のような形状を呈する。行道獅子で使用されている。



百足獅子



一般的な獅子頭



古い形態の獅子頭(箱獅子)

### 【獅子あやしの種類】

キンゾウ：着物に野袴の武者姿

サンバサ：烏帽子に水干姿

オドリコ：花笠に鮮やかな着物

サ サ ラ：平頭巾で手には鉦

テ ン グ：手拭被りの天狗面で、太く大きな赤い襷を巻く。

\* 道化：願念坊、パチ、オカメ、ヒョットコなどが  
箒や箕などを手にして、場を盛り上げる。

### 【金蔵獅子の演目】

キンゾウ：槍を手に獅子と格闘

ヘビジシ：獅子が蛇を食べる所作

キョクジシ：獅子方のアクロバット

カグラジシ：御幣を手にキンゾウが獅子と演舞

## キンゾウ



## 天 狗



### 【被り物】

氷見獅子では、漆塗りで紋章入りの烏帽子を被る。他の獅子舞では、ふさふさとした長い白毛のシャゲマ（毛冠）を被る。

### 【採り物】

氷見獅子では先端に紙の房を付けた1メートル程の竹の棒が使用される。五箇山では両端に房が付く。砺波獅子には薙刀、太刀、鎌などの武具が使用される。

### 【衣装と天狗面】

氷見獅子では、狩衣に襷をかけ、紋章を描いた胸当てを付ける。タツツケ袴をはき、裾を紐でくる。顔には朱塗りの天狗面を付ける。

砺波獅子では、着物と袴姿で模様を描いた胸当てを付ける。白鉢巻で後ろに大きく垂らす。顔は白粉と頬紅で化粧する。

## 金蔵獅子



### 【獅子方】

牡丹や唐草模様のお胴幕に、巻毛模様のタツツケ袴をはく。獅子方の後者は、両手で胴幕を高く支えて、立体感を醸し出す。越後型神楽獅子では、胴幕をねじって首に巻く。

### 【様々な採り物】



## 7 『とやまの獅子舞』 百選



### 1 境の獅子舞

獅子方は頭をすっぽり被り、手にした刀と御幣を付けた棒で悪魔払いをする。

尾持ちは捻った胴幕を脇に抱えているので、一見したところ一人立ちの獅子舞に見える。越後型の神楽獅子が伝播した獅子舞。

**所在地** 朝日町境

**主な上演場所** 境神社

**開催日** 4 / 15、10 / 15日に近い日曜日



### 2 笹川の獅子舞

こちらも獅子頭を被り、手にした刀と弊を振り悪魔払いをする越後型の神楽獅子。新潟県境地域にのみ伝承されるこのタイプの獅子舞の典型として、良好に保存・継承されており、町の無形民俗文化財に指定されている。

**所在地** 朝日町笹川

**主な上演場所** 諏訪神社

**開催日** 4月第2土曜日

8月第4土曜日



3

## 平柳の獅子舞

演目はダイカグラ、オコシマイなど。鮮やかな青地に牡丹をあしらった胴幕も美しい。獅子あやしのテングを子供達が演じるのが特徴的。

**所在地** 朝日町平柳

**主な上演場所** 五社之社

**開催日** 10月第2土曜日



4

## 草野の獅子舞

演目はダイカグラ、ショウジョウ、タマアソビなど。二人立ちの獅子としては獅子頭が大きいのが特徴。

**所在地** 朝日町草野

**主な上演場所** 五社明神社

**開催日** 10月第2土・日曜日



5

## 新屋の獅子舞

神社で奉納した後、2日間にわたって地区内を回る。天狗の舞が演目の主体となる下新川獅子の中心をなすもので、近隣の黒部や宇奈月、朝日にも影響を与えている。町無形民俗文化財。

**所在地** 入善町新屋

**主な上演場所** 住吉社

**開催日** 10月14・15日



6

## くぬぎやま 桐山の獅子舞

こちらでも下新川獅子の典型として町の指定文化財となっている。10人以上ものテングが獅子を相手に舞うテングマイが特徴的。

**所在地** 入善町桐山

**主な上演場所** 八幡社

**開催日** 10月14・15日に近い土・日曜日





## 7 とっみ 東狐の獅子舞

テングスモウ、トロロ、テンマリなどの演目が特徴的な下新川獅子。

**所在地** 入善町東狐

**主な上演場所** 稻荷神社

**開催日** 10月15日に近い土曜日



## 8 にざやま 下山の獅子舞

演目はシシオコシ、四人マワシ、六人マワシなど。

**所在地** 入善町下山

**主な上演場所** 下山八幡社

**開催日** 10月14・15日に近い土・日曜日





9

## 栃屋の獅子舞

演目はダイモンサキ、テングマイ、シヨウジョウマイなど。江戸時代の頃の舞を比較的良好に継承する。

**所在地** 宇奈月町栃屋

**主な上演場所** 栃屋石動彦社

**開催日** 10月17日

10  
おり たて

## 下立の獅子舞

大天狗、小天狗が獅子あやしとなるコクセンが特徴的。非常にテンポが早く活気に溢れ、道化役のジジ・ババ（願念坊主）の所作もユニーク。

**所在地** 宇奈月町下立

**主な上演場所** 下立神社

**開催日** 10月21日



11

## 明日の獅子舞

演目はダイカグラ、テングマイなどの他に悪魔払いもあり、神楽系獅子の舞と混合した芸態が特徴的。

**所在地** 宇奈月町明日

**主な上演場所** 八幡社

**開催日** 4月・10月の第2土曜日





12

## 沓掛の獅子舞

演目はショウジョウ、フナコシ、サクルなど。角がなく、耳の垂れた獅子頭が特徴的で、白衣・袴姿で舞うテングも独特。保存会でホームページを作成してPRにも努めている。

**所在地** 黒部市沓掛

**主な上演場所** 沓掛八幡社

**開催日** 9月24・25日



13

ほうのきだに

## 朴谷の獅子舞

鮮やかな青地の衣装に、太い赤褌をかけたテングが一際目を引く。獅子頭は小型で角がない。

**所在地** 黒部市朴谷

**主な上演場所** 熊野社

**開催日** 1月2日、8月14日、  
10月23日





14

## 小川寺の獅子舞

神輿を先導して、テング面、お多福面などを付けた獅子あやしとともに二人立ちの獅子が地を這うような姿勢で千光寺の観音堂を7周半回る。獅子舞の原初的な様相を色濃く残し、神仏混交の行事を今日に伝える県下唯一の貴重なものとして、県の無形民俗文化財に指定されている。

**所在地** 魚津市小川寺

**主な上演場所** 白山社、  
千光寺観音堂

**開催日** 3月12日、  
10月12日、  
1月第4日曜日



15

## 金山谷の獅子舞

松倉金山に働きに来ていた能登の採掘工が教えたと伝えられる氷見型の百足獅子。真っ赤なテングの衣装が鮮やか。

**所在地** 魚津市金山谷

**主な上演場所** 神明社

**開催日** 3月16日



16

## 北鬼江の獅子舞

入善町新屋より習得したと伝えられる。本来的には二人立ちの獅子舞だが、演目によっては、3～4名の獅子方で演じるため、あたかも百足獅子のようにも見える。

**所在地** 魚津市北鬼江

**主な上演場所** 八幡宮

**開催日** 10月1日



17

## 加島町の獅子舞

二区は雌獅子、三区は雄獅子。明治時代に能登から伝わったと言われる。

演目はダイカグラ、デンボコ、ノッタノッタなど。道化役の「バッチャバッチャ」がユニーク。

**所在地** 滑川市加島町

**主な上演場所** 加積雪嶋神社

**開催日** 5月21日



18

## 広野の獅子舞

上市町に伝承される氷見型百足獅子の中でも古いもの。雌獅子と言われ氷見型の獅子にしては舞がおとなしい。

**所在地** 上市町広野

**主な上演場所** 香積神社

**開催日** 10月21日





19

## 東種の獅子舞

明治時代に同町広野より習得したと言われる氷見型の百足獅子。勇壮活発な舞で、中心演目のシシコロシは2時間近くにも及ぶ。道化役（バチ）の面は江戸時代初期の作と伝えられる貴重なもの。

**所在地** 上市町東種

**主な上演場所** 白山神社

**開催日** 4月18日、10月18日



20

## 伊折の獅子舞

こちらも氷見型の百足獅子。動きが激しく迫りに溢れる。約1時間にもおよびコロシマク（シシコロシ）が見もの。

**所在地** 上市町伊折

**主な上演場所** 伊保里神社

**開催日** 4月中旬、8月16日



21

## 浦田山王社の獅子舞

全長7m、幅2mもの胴幕に20名以上が入って練り歩く行道型の獅子。白丁姿の若衆が棒の先に弊をつけ獅子の目隠しをする。獅子頭で新婦や幼児の頭を噛む所作（オウタマワシ）も特徴的。県下唯一の行事として町の無形民俗文化財に指定されている。

**所在地** 立山町浦田

**主な上演場所** 浦田山王社

**開催日** 4月中申の日に近い土・日曜日



22

## 宮路の獅子舞

雄、雌、子獅子の三頭で演じられる珍しい金蔵獅子。演目はキンゾウシシ、ヘビシシ、キョクジシなど。飛騨金蔵獅子の芸態を良好に伝えるものとして、町の無形民俗文化財に指定されている。

**所在地** 立山町宮路

**主な上演場所** 神明社

**開催日** 4月第1日曜日



23

## 五百石下町の獅子舞

立山町市街地に伝承される射水型の百足獅子で、秋祭りに演じられる。演目はダイモン、オオバコ、ダンズルマイなど。

**所在地** 立山町五百石

**主な上演場所** 天満社

**開催日** 9月25日



24

## 中老田の獅子舞

大獅子と子獅子があるが舞うのは大獅子のみ。胴幕に8人が入って演じる百足獅子。胴幕の大きな渦と牡丹の模様も美しい。

**所在地** 富山市中老田

**主な上演場所** 加茂社

**開催日** 4月第4土曜日





25

## 中島の獅子舞

こちらも射水型の百足獅子。カミワタリジシを舞ってお祓いを受けた後、地区回りをする。神社や氏子宅から出る際に獅子あやしが獅子の肩車に乗るのが特徴。

**所在地** 富山市中島

**主な上演場所** 八幡神社

**開催日** 4月第4日曜日



26

## 宮保の獅子舞

ヒョットコ面の道化1人、獅子あやし4人を相手に曲芸的な演目进行する。

**所在地** 富山市宮保

**主な上演場所** 熊野神社

**開催日** 4月2日



27

## 有沢の獅子舞

演目はカグラシシ、ヒビシシなど十数種。20年以上途絶えた獅子舞を住民の熱意で復活させた。演舞の記録映像を制作するなど保存・継承に意欲的。

**所在地** 富山市有沢

**主な上演場所** 神明社

**開催日** 4月第1土曜日



28

## 稲代の獅子舞

演目はダイモンサキ、キンゾウジシ、ポタンジシなど。保存会でホームページを作成して情報発信・PRにも積極的に努めている。

**所在地** 富山市稲代（大沢野）

**主な上演場所** 住吉社

**開催日** 4月第2日曜日



29

## 笹津の獅子舞

現在県下で伝承される金蔵獅子の中でも飛騨金蔵獅子の芸能を色濃く残す数少ない獅子舞。ヘビジシの笛と舞が特徴的。

**所在地** 富山市笹津（大沢野）

**主な上演場所** 笹津神社

**開催日** 4月第2日曜日



30

## 上大久保の獅子舞

高砂山願念坊祭り曳山の先導を行う獅子舞。演目はダイモンサキ、サンバソウ、キンゾウジシなど。

**所在地** 富山市上大久保（大沢野）

**主な上演場所** 天満宮

**開催日** 4月10日直前の日曜日





31

## 楡原の獅子舞

少女が花笠を被り晴れ着を着て登場するアネマジシが、この地域の大きな特徴。

**所在地** 富山市楡原（細入）

**主な上演場所** 上行寺

**開催日** 4月15日に最も近い土曜日



32

## 瀬戸・日尾の獅子舞

近隣の瀬戸地区と合同で保存会を結成し、保存・継承に努めている。

**所在地** 富山市瀬戸・日尾（大山）

**主な上演場所** 熊野神社ほか

**開催日** 3月30日



33

## 鏡町の獅子舞

県指定文化財「八尾町祭礼曳山」の獅子舞。山車の露払いとして悪魔払いをする。

**所在地** 富山市八尾町鏡町

**主な上演場所** 八幡社

**開催日** 5月3日



34

## 大杉の獅子舞

演目はキンゾウジシ、オオジシマイなど。  
雄獅子の獅子頭はたいへん大きい。

**所在地** 富山市八尾町大杉

**主な上演場所** 大杉神明社

**開催日** 4月9日



35

## 三田の獅子舞

色とりどりの幟旗を振って行列するのが特徴的。

**所在地** 富山市八尾町三田

**主な上演場所** 白鳥神社

**開催日** 4月10日



36

## 高熊の獅子舞

獅子あやしの化粧と装束に工夫が見られる。演目はカグラ、キンゾウジシ、キョクジシ、ヘビジシなど。

**所在地** 富山市八尾町高熊

**主な上演場所** 高熊八坂社

**開催日** 4月9日



37

## 下轡田の獅子舞

演目はカグラ、キンゾウジシ、オロロジシなど。明治初期に八尾町三田より伝習したと伝えられる。

**所在地** 富山市婦中町下轡田

**主な上演場所** 下轡田八幡宮

**開催日** 4月第2土曜日



38

## 下井沢の獅子舞

獅子が両側で舞い、獅子あやしが真ん中で舞うヒキジシが特徴的。地域全体で未永く継承するために新たに保存会を結成。

**所在地** 富山市婦中町下井沢

**主な上演場所** 八幡宮

**開催日** 4月第3土曜日



39

## 富崎の獅子舞

周辺地域に伝承される金蔵獅子の元祖と伝えられる。演目はカグラジシ、キンゾウジシ、ヘビジシなど。

**所在地** 富山市婦中町富崎

**主な上演場所** 八坂社

**開催日** 4月13日直後の日曜日



40

## 長沢の獅子舞

婦負地域には珍しい砺波獅子。演目にはらみ獅子系10種類。胴幕も赤地の純毛刺繍を施した見事なもの。

**所在地** 富山市婦中町長沢

**主な上演場所** 稻荷神社

**開催日** 4月8日



41

## 小谷三ヶ村の獅子舞

後継者不足で単独では開催が困難となった赤目谷、小谷、北山の3地区が合同で開催し保存・継承に努めている獅子舞。身近な小道具や衣装を用いて即興で演じる「にわか獅子」は他では例を見ないユニークなもの。

**所在地** 富山市山田小谷ほか（山田）

**主な上演場所** 八幡社

**開催日** 4月15日



## 高岡地区

### 新湊の獅子舞

新湊地区は、とりわけ獅子舞が盛んな地域のひとつで、各地区の方々が熱心な活動を続けている。当地の獅子舞は、胴幕に竹の輪が入らない百足獅子で、毛冠（シャグマ）を被り赤襦袢に胸当てを付けたテングや、キリコと呼ばれる花笠を被った二人一組の少年が、様々な採り物を持って獅子の相手をする。演目は氷見獅子、砺波獅子などの影響を受けたものが入り交じって伝えられるが、漁師町周辺のオーベッサンや、農村部のキリコなど独自のものもある。



42

### 朴木の獅子舞

**所在地** 射水市朴木（新湊）

**主な上演場所** 日吉社

**開催日** 4月第2土曜日



43

### 作道の獅子舞

**所在地** 射水市作道（新湊）

**主な上演場所** 道神社

**開催日** 9月第1土曜日



44

### 久々江の獅子舞

春・秋両方の祭りで獅子舞が上演される。キリコが獅子あやしとなる演目が主体だが、ワナイクルと呼ばれるのどかな舞も伝える。

**所在地** 射水市片口久々江（新湊）

**主な上演場所** 稻荷神社

**開催日** 4月20日、10月30日





45

## 江柱の獅子舞

演目はオオマル、ミヤマイリ、ナギナタなど。保存会でホームページを作成して情報発信するなど保存継承だけでなくPRにも積極的に取り組んでいる。

**所在地** 射水市中新湊（新湊）

**主な上演場所** 日吉神社

**開催日** 5月15日



46

## 西奈呉の獅子舞

天保年間に能登から伝播したと伝えられる。漁師町にふさわしい、恵比須の名で舞うオーベッサンが勇壮。各地の競演会にも数多く出演している。

**所在地** 射水市放生津（新湊）

**主な上演場所** 気比住吉神社

**開催日** 5月15日





47

## 中町の獅子舞

典型的な射水型の百足獅子の特徴を今日に伝える獅子舞。

**所在地** 射水市放生津（新湊）

**主な上演場所** 気比住吉社

**開催日** 5月15日



48

## 横町の獅子舞

通称、浜獅子と呼ばれ、太鼓の乱打、舞とも勇壮・活発。

**所在地** 射水市本町（新湊）

**主な上演場所** 三日曾根神社

**開催日** 5月15日





49

## 四日曾根の獅子舞

こちらも浜獅子。演目はミヤマイリ、ナギナタ、オーベッサンなど。

**所在地** 射水市中央町（新湊）  
**主な上演場所** 四日曾根諏訪社  
**開催日** 5月15日



50

## 海老江中町の獅子舞

勇壮な射水獅子にあって、マサカリ、オテンテンカタなどの愛らしい舞も演じる。

**所在地** 射水市海老江（新湊）  
**主な上演場所** 海老江加茂社  
**開催日** 4月3日





51

## 堀岡東町の獅子舞

春祭り、秋祭りともに獅子舞が上演される。演目はミヤマイリ、ナギナタ、キリコなど。

**所在地** 射水市堀岡（新湊）

**主な上演場所** 堀岡神明社

**開催日** 5月4日



52

## 六ろく渡どう寺じの獅子舞



ホーラホラ、キリコなどの他、地を這うような姿態の演目が中心となるが、中でも大テングが松明を持って獅子の相手をするヨソブリは見もの。近年では創作的な演目にも取り組んでいる。県内外の競演会に積極的に参加するとともに、保存会でホームページを作成して情報発信・PRにも力を入れている。

**所在地** 新湊市庄西町（新湊）

**主な上演場所** 日枝神社

**開催日** 5月14日、10月6日



53

## 青井谷の獅子舞

獅子方7人、剣取り2人、笛・太鼓方で構成される砺波型の百足獅子。

**所在地** 射水市青井谷（小杉）

**主な上演場所** 日吉社

**開催日** 4月14日



54

## 三ヶ錦町の獅子舞



昭和55年の小杉駅舎の新築に伴い復活した旧小杉町市街地の獅子舞。

**所在地** 射水市三ヶ（小杉）

**主な上演場所** 十社

**開催日** 5月第3土曜日



55

## 黒河の獅子舞

胴幕に10名が入る大型の射水獅子。  
獅子の背中にテングや子供（チャアラコ）を乗せるノッタカがユニーク。

**所在地** 射水市黒河（小杉）

**主な上演場所** 神明社

**開催日** 4月9日



56

## 二口の獅子舞



演目はダイカグラ、ナギナタ、シシコロシなど多彩。最後に神社参道で行う火渡りは特に有名で、毎年多くの見学者で溢れる。

**所在地** 射水市二口（大門）

**主な上演場所** 熊野神社

**開催日** 9月8日



57

## 串田の獅子舞

砺波型の百足獅子で、こちらの獅子も参道で神輿の先導をして火渡りを行う。旧村内には氷見型の百足獅子も伝わる。

**所在地** 射水市串田

**主な上演場所** 櫛田神社

**開催日** 9月10日



58

## 「やんさんま」神幸式の行道獅子

有名な「やんさんま」神幸式で、神の御旅の先導をする行道獅子。紋付正装の氏子代表が口当てをして古い箱形の獅子頭を頭上に頂いて静かに歩むだけの厳かな行事で、中世的な古い様相を今日に伝える。

**所在地** 射水市加茂中部（下村）

**主な上演場所** 加茂神社

**開催日** 5月4日





59

## 白石の獅子舞

演目はホコハンドウチュウ、カミワタリ、キルコ（キリコ）など多彩。

**所在地** 射水市白石（下村）

**主な上演場所** 加茂神社

**開催日** 4月3日



60

## 赤井の獅子舞

百足獅子と二人立ちの二頭立ての親子獅子。母獅子の腹から子が生まれる場面を演じる「子獅子出し」が特徴的。在来の射水獅子に飛騨金蔵獅子が取り入れられた県内でも特殊な芸態の獅子舞。市の無形民俗文化財に指定。

**所在地** 射水市赤井（大島）

**主な上演場所** 神楽神社

**開催日** 4月第1土曜日





## 高岡の獅子舞

高岡市域も獅子舞の伝承数が多く、130件を超える獅子舞が現在も行われている。地理的な条件などから、市街地や北部・西部地域には氷見獅子、南部地域には砺波獅子が数多く分布する。また、二上や守山地区では加賀型百足獅子の影響を受けたものも見られる。



61

## 木町の獅子舞

木町神社秋季大祭の獅子舞。

**所在地** 高岡市木町

**主な上演場所** 木町神社

**開催日** 9月第2土曜日



62

## 長江の獅子舞

氷見市十二町から習得したと伝えられ、勇壮で活発な舞が特徴。地元の地域活性化イベント等にも積極的に参加して舞を披露している。

**所在地** 高岡市長江

**主な上演場所** 長江神社

**開催日** 10月9日





63

## 長慶寺の獅子舞



こちらも氷見市十二町から習得したと伝えられる百足獅子。

**所在地** 高岡市長慶寺

**主な上演場所** 西条神社

**開催日** 4月第2土曜日



64

## 守山の獅子舞

棒・ナギナタを用いた勇壮な舞。春は青年団、秋は少年団が演じる。

**所在地** 高岡市守山

**主な上演場所** 守山神社

**開催日** 4月第2土曜日、

9月第2土曜日





65

## 二上射水神社のげんだい獅子、二上の獅子舞

射水神社の春期祭礼（築山行事）で御旅の先導をする行道獅子で、源太夫お獅子と呼ばれる。祭礼では地区に伝わる氷見獅子と砺波獅子の演目の特徴を併せ持つ獅子舞も奉納される。

**所在地** 高岡市二上

**主な上演場所** 二上射水神社

**開催日** 4月23日



（二上射水神社のげんだい獅子）



（二上の獅子舞）



## 66 常国の獅子舞

演目はハルガマ、サンピス、キリコなど。ハルガマは宮のみで上演される。

**所在地** 高岡市常国

**主な上演場所** 常国神社

**開催日** 10月第2日曜日



## 67 北島の獅子舞

演目はヒトアシ、フタアシ、バイガエシなどテンポの良い活弁な舞。演舞の記録映像を制作するなど保存・継承に意欲的。

**所在地** 高岡市北島

**主な上演場所** 北島神社

**開催日** 9月10日前後の土曜日



## 68 吉久の獅子舞

加賀獅子の流れを汲みながらも、豪快な舞が特徴的。近年は伝統を踏まえつつも創作的な演舞にも力を入れている。県内外の獅子舞競演会やイベントに積極的に参加するだけでなく、他地域の後継者育成にも取り組んでいる。

**所在地** 高岡市吉久

**主な上演場所** 吉久神明社

**開催日** 10月第3土曜日





69

## 立野上町の獅子舞

氷見型と砺波型が融合したタイプの獅子舞。

この度、獅子頭、胴幕を新調。演目はヒトアシ、フタアシ、ナギナタなど。

**所在地** 高岡市立野

**主な上演場所** 福田神社

**開催日** 9月第3土曜日



70

## 頭川の獅子舞

頭川神社秋季大祭の獅子舞。勇壮活発な氷見型の百足獅子だが、テングは六尺棒を持って獅子に対する。

**所在地** 高岡市頭川

**主な上演場所** 頭川神社

**開催日** 10月第2土・日曜日



71

## 伏木一宮氣多神社のにらみ獅子、伏木一宮の獅子舞



(氣多神社のにらみ獅子)

氣多神社春期大祭に奉納される通称にらみ獅子。芸能めいた所作はなく、頭だけがゆったりと動き、睨んだ参拝客の厄を払うとされる。祭礼には地区に伝わる勇壮な氷見型百足獅子も奉納される。

**所在地** 高岡市伏木一宮  
**主な上演場所** 氣多神社  
**開催日** 4月18日



(伏木一宮の獅子舞)



72

そうごう

## 沢川の獅子舞

宮では二組の獅子とテングが登場して、ヤツブシ、パンガヤシなどを勇壮に舞う。旧福岡町の山村部で古くから良好に伝承される獅子舞。

**所在地** 高岡市沢川（福岡）

**主な上演場所** 愛宕社

**開催日** 9月22日



73

## 福岡三区（下蓑）の獅子舞



旧福岡町市街で熱心に活動している獅子舞のひとつ。一区、二区には氷見型の獅子が伝承されるが、ここ三区には砺波型の獅子が伝わる。他では多く見られるシシコロシを行わないのが大きな特徴。

**所在地** 高岡市福岡三区（福岡）

**主な上演場所** 三乃神社

**開催日** 9月10日



## 氷見の獅子舞

氷見市域は、獅子舞が盛んな富山県にあって、ひとときわ活動が盛んな「獅子舞の里」である。昨春には「ひみ獅子舞ミュージアム」もオープンした。春・秋祭りで舞われる獅子舞は、5・6人の獅子方で演じる百足獅子で、主に鼻高面に烏帽子を被り、狩衣に色とりどりの襷を掛けた野袴姿のテングが棒を持って獅子を相手に華麗に舞う。演目は多彩で、ヒトアシ、フタアシ、バイガヤシ、キョウブリ、ギオンブリ、ヨソブリ、シシコロシなど20種類ほど。また、幟旗、御神灯で華やかに飾られた曳山のような太鼓台も、氷見獅子の大きな特徴である。



74

## 十二町の獅子舞



氷見獅子のルーツと考えられており、市内各地に伝わる獅子舞の芸能は、演目名称や順番は異なるものの、ほぼ当地のものと共通している。大宮（日宮社）では垣内の五頭立ての獅子が勢揃いして舞を奉納する。

**所在地** 氷見市十二町

**主な上演場所** 日宮社ほか

**開催日** 4月第3土曜日



75

## 下田子の獅子舞

**所在地** 氷見市下田子

**主な上演場所** 藤波神社

**開催日** 4月第2土曜日





## 76 寺中の獅子舞

一般的な演目に加え、キョーフルガエシという他ではあまり見られない演目がある。嫁花（祝儀）の返礼ではヨソブリではなく、タチフリを披露する。

**所在地** 氷見市寺中

**主な上演場所** 御田神社

**開催日** 10月第2土曜日



## 77 表泉の獅子舞

昨春オープンした「ひみ獅子舞ミュージアム」お膝元の獅子舞として意気盛んで、各地の獅子舞の先頭にたって氷見獅子のPRに努めている。

**所在地** 氷見市表泉

**主な上演場所** 天満宮

**開催日** 9月第3土曜日





78

## 中村の獅子舞

他地区より開始が早く、午前中に神社に奉納した後、各戸を回り、翌朝まで続けられる。祭礼日以外に獅子舞ミュージアムで開催される競演会でも熱演。

**所在地** 氷見市中村

**主な上演場所** 中村神社

**開催日** 9月第3土曜日



79

## 論田の獅子舞



文様のない鮮やかな緋色一色の胴幕が個性的。

**所在地** 氷見市論田

**主な上演場所** 八幡社

**開催日** 9月22日



80

いわがせ

## 岩瀬の獅子舞

宮ではテングと獅子が二組同時に舞う「二頭のヤツブシ」を奉納する。

**所在地** 氷見市岩瀬

**主な上演場所** 岩瀬神社

**開催日** 10月第2土曜日



81

## 上田の獅子舞

**所在地** 氷見市上田

**主な上演場所** 上田神社

**開催日** 9月第3土曜日



82

## 余川北側の獅子舞

氷見地域でも数少なくなつたが、春・秋祭りで獅子舞が奉納される。獅子方、囃子方は総勢約50名と大規模。近年では青年団と少年団による親子獅子も披露。

**所在地** 氷見市余川

**主な上演場所** 金田神社

**開催日** 4月第4土曜日、

9月第4土曜日





83

## 森寺の獅子舞



12種の演目を伝え、獅子の舞う姿はまさに吠え狂う様を現す。テングの衣装も華やかで採り物も五色の御幣をつけた綺麗なもの。

**所在地** 氷見市森寺

**主な上演場所** 愛宕神社

**開催日** 4月第2土曜日



84

## 小杉の獅子舞

**所在地** 氷見市小杉

**主な上演場所** 小杉菊理姫像石神社

**開催日** 4月17日、9月17日

(不定期開催)



## 小矢部の獅子舞

小矢部市域にも80件近くの獅子舞が保存・伝承されている。ほとんどが胴幕に竹の輪を入れる砺波型の百足獅子だが、演目や獅子あやしの所作・採り物には氷見獅子と同様のものも多い。平成9年には市獅子舞連合会が結成され、毎年5月第4土・日曜日には観音寺の天神講に伴って、市内各地の獅子舞競演会や獅子舞フォトコンテストなどの催しを行い、獅子舞の保存・活用に努めている。



85

## 吉田町の獅子舞



胴幕には砺波獅子のように竹の輪が入るが、氷見獅子が伝播したものの。演目はフタアシ、キョウブリ、シシコロシなど。地元の獅子舞競演会だけでなく高岡、氷見などの競演会などにも積極的に参加している。

**所在地** 小矢部市西町

**主な上演場所** 観音寺

**開催日** 5月第4土・日曜日



86

## 観音町の獅子舞

砺波型の百足獅子だが、キリコ、ヘビジシなど金蔵獅子の演目も取り入れられている。

**所在地** 小矢部市観音町

**主な上演場所** 観音寺

**開催日** 5月第4土・日曜日





87

## 中下新町の獅子舞

胴幕には竹の輪が入る氷見型の百足獅子。演目にはヒトアシ、フタアシ、パイガエシなど氷見獅子の演目の他に、射水獅子特有のボンボコも見られる。

**所在地** 小矢部市新富町、畠中町

**主な上演場所** 観音寺

**開催日** 5月第4土・日曜日



88

## 愛鉄町の獅子舞

こちらも胴幕に竹の輪が入る氷見型の百足獅子だが、中下新町同様に射水獅子の演目もある。

**所在地** 小矢部市八和町

**主な上演場所** 観音寺、愛宕神社

**開催日** 5月第4土・日曜日





89

## 小矢部町の獅子舞



通称、雄獅子。サンパイ、サンピス、ケンなど砺波獅子の演目の他、キリコなど金蔵獅子の演目もある。

**所在地** 小矢部市小矢部町、泉町、本町

**主な上演場所** 観音寺・熊野神社

**開催日** 5月第4土・日曜日



90

## 島分の獅子舞

小矢部市街では唯一の親子獅子。演目はダイモンクズシ、オシコミ、ケン、ボウ、シシゴロシなど。

**所在地** 小矢部市泉町

**主な上演場所** 観音寺、愛宕神社

**開催日** 5月第4土・日曜日





91

## 水牧の獅子舞



市郊外で良好に伝承されている獅子舞のひとつ。上村が雌獅子、下村が雄獅子。いずれも胴幕に竹の輪が入る氷見型の百足獅子。演目はミヤマイリ、シチゴサン、ヒトアシ、フタアシ、シシコロシなど。

**所在地** 小矢部市水牧  
**主な上演場所** 比叡神社  
**開催日** 9月9日



92

## 小森谷の獅子舞

通称、雌獅子。演目はドウチユウ、サンパイ、ナギナタ、カサなど多彩。

**所在地** 小矢部市小森谷  
**主な上演場所** 小森谷神明宮  
**開催日** 4月10日、9月9日





93

## 太郎丸の獅子舞



通称、雄獅子。宮ではミヤマイリの曲で拝殿に進み一通りの舞を奉納する。演目はボウ、ナギナタ、サンバサなど。

**所在地** 砺波市太郎丸  
**主な上演場所** 八幡宮  
**開催日** 9月23日、24日



94

## 苗加の獅子舞

砺波市内で最も熱心に活動している獅子舞のひとつ。地区には東西の二つの獅子があり、西方は雄、東方が雌獅子と言われる。二頭が並んでミヤマイリで拝殿へ進み、一通りの舞を奉納する。演目はドウチュウニラミ、テドリ、ボウオドリ、ナギナタ、クモキリ、カラカサなど多彩。

**所在地** 砺波市苗加  
**主な上演場所** 苗加神社  
**開催日** 10月16日





95

## 秋元の獅子舞



地区には下村（雄獅子）、上村（雌獅子）の二つの獅子舞が伝承されている。こちらも二頭並んでミヤマイリを行い一通りの舞を奉納する。演目はサンバサ、ケン、ハケ、ゴヘイ、タチ、ナギナタ、カマなど。

**所在地** 砺波市秋元

**主な上演場所** 八幡神社

**開催日** 10月最終土曜日



96

## 東石丸の獅子舞

北部、南部で異なる芸態の獅子舞が伝承されている。北部の獅子舞は砺波市域では珍しい金蔵獅子で、南部には一般的な砺波獅子。北部では演舞の記録映像を製作したり、新興団地の住民も巻き込んで地域一丸となって保存・継承に努めている。

**所在地** 砺波市東石丸

**主な上演場所** 東石丸神社

**開催日** 10月30日





97

## 頼成の獅子舞



上村が雄獅子、下村が雌獅子。二頭立てで宮参りを行い、一通りの舞を奉納する。演目はサンバサ、ポウ、ナギナタ、カマ、テッポウなど。

**所在地** 砺波市頼成

**主な上演場所** 林神社

**開催日** 11月3日



98

## 青島の獅子舞

旧庄川町で熱心に活動している獅子舞のひとつ。上・下村に二つの獅子が伝承されるが、いずれも雌獅子と言われる。ウチサンパイで拝殿へ進み一通り舞った後、勝ちどきをする。演目は他にサンピツ、ココノツなど。

**所在地** 砺波市青島

**主な上演場所** 青島神明宮

**開催日** 3月第2土曜日、  
9月第2土曜日





99

## 三谷の獅子舞

通称、雌獅子。サンパイで拝殿へ進み一通りの舞を奉納する。演目はドウチュウ、サンバサ、ミズヒキ、ナギナタまわしなど。

**所在地** 砺波市三谷

**主な上演場所** 稻荷神社

**開催日** 11月3日



100

## 本江の獅子舞



外見は砺波型の獅子であるが、演目はシチゴサン、ヤッサブリなど氷見獅子の影響が強い。

**所在地** 南砺市本江（福野）

**主な上演場所** 本郷神社

**開催日** 体育の日の前日



101

## 吉松の獅子舞

頭を横に振り、顎を見せないにらみ系の獅子。演目はサンバソウ、ナギナタ、ギオンバヤシなど。

**所在地** 南砺市吉松（城端）

**主な上演場所** 吉松神社

**開催日** 10月第2土曜日



102

## 南町の獅子舞

城端曳山の先導をする獅子舞。演目はギンバヤシ、ヨッサキ、シチゴサンなど。五箇山地方より習得したと伝えられる。

**所在地** 南砺市城端南町

**主な上演場所** 城端神明宮

**開催日** 5月14日・15日





103

## 川原町の獅子舞



宇佐八幡宮の祭礼で演じられる加賀獅子が直接伝播した形を残す獅子舞。獅子頭と胴幕が綱で繋がれているのが大きな特徴。旧福光市街でのみこの種の獅子舞が伝承されている。

**所在地** 南砺市川原町（福光）

**主な上演場所** 宇佐八幡宮

**開催日** 4月第3土曜日



104

## 神成の獅子舞

演目は旧福光町に伝わる獅子舞の中で最も多彩で、リョウスデ、オウギトリ、カマドリなど30種類以上もある。

**所在地** 南砺市神成

**主な上演場所** 神明社

**開催日** 11月3日





105

## 山下の獅子舞

井波「よいやさ祭り」で演じられる獅子舞。山下、東町、下新町の三獅子で区内を回る。山下の獅子は他の二つの先導役を務める。

**所在地** 南砺市山下（井波）

**主な上演場所** 井波八幡宮

**開催日** 5月2日・3日



106

## 院瀬見の獅子舞

井波随一の大獅子。演目はミヤマイリ、ギオンバヤシなど。

**所在地** 南砺市院瀬見（井波）

**主な上演場所** 善休寺ほか

**開催日** 3月29日



107

## 井口の獅子舞

旧井口村で伝承される唯一の獅子舞。演目はギョウレツで始まり、ヨッサキで終了する。演目は他にサンバサ、オドリシシ、カマなど。暫く休止していたが、地区唯一の獅子舞を青年会が中心となって復活させた。

**所在地** 南砺市井口

**主な上演場所** 井口神明宮

**開催日** 11月6日





108

## 上梨の獅子舞



氷見市大久保の大工が当地に伝えたと言われ、五箇山地域に伝承される獅子舞では最も古く、規模も最大である。演目はマイコミ、ゲンバヤシ、シチゴサン、テングマイなど。

**所在地** 南砺市上梨（平村）

**主な上演場所** 白山社

**開催日** 4月26日・27日



109

あたらしや

## 新屋の獅子舞

後継者不足を打開するため、旧上平村の新屋、真木、東赤尾、上中田、田下、菅沼の5集落が一带となって開催し保存・継承している獅子舞。社寺で夜獅子を舞い、3日間で地域内全戸を回る。演目はゲンバヤシ、シチゴサン、テングマイなど。

**所在地** 南砺市新屋

**主な上演場所** 八幡社ほか

**開催日** 5月3日・4日・5日





110

## 利賀上村の獅子舞



明治以前に井波より習得したと伝えられ、旧利賀村内で最も良好に伝承されている獅子舞のひとつ。演目はサンパイ、カマ、タマコロガシなど。

**所在地** 南砺市利賀村  
**主な上演場所** 神明社  
**開催日** 5月4日



111

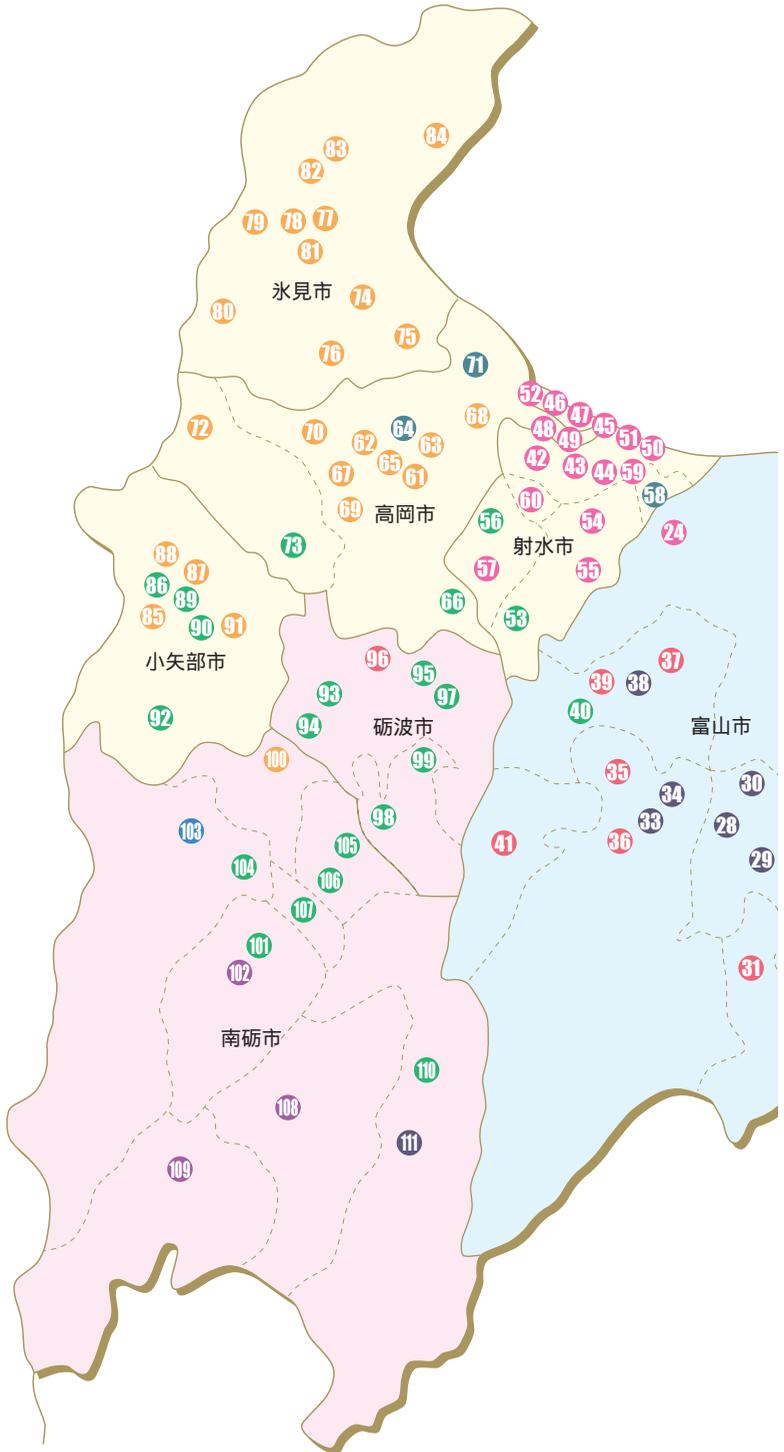
## 上百瀬の獅子舞

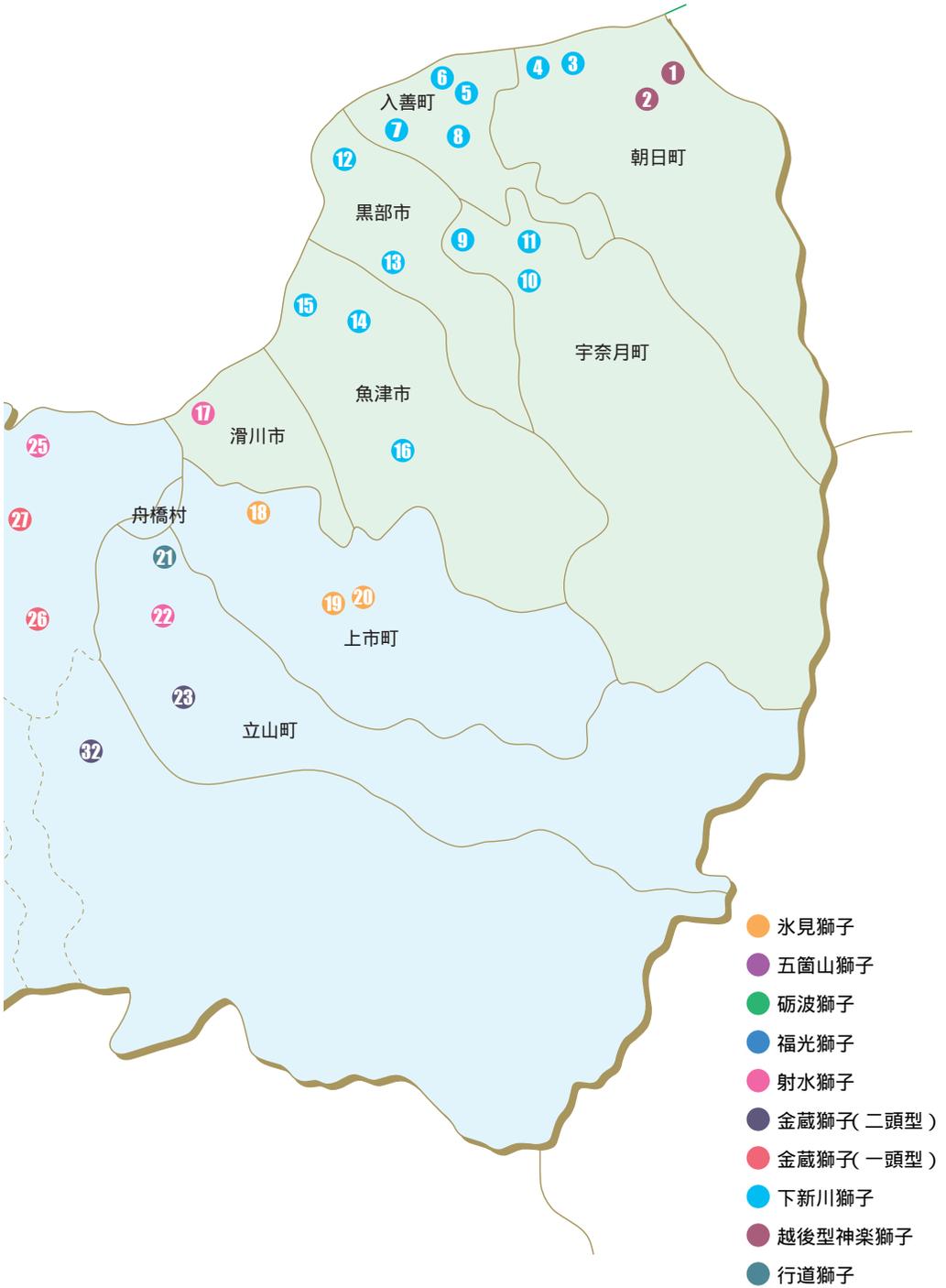
雌雄二頭立ての金蔵獅子。演目はカグラ、オバコ、ラッカンマ、オドリ、マメヒロイ、ホタルコイ、メメリなど。

**所在地** 南砺市利賀村上百瀬  
**主な上演場所** 上百瀬神明宮  
**開催日** 5月5日



『とやまの獅子舞』百選マップ





## 『とやまの獅子舞』百選一覧

No.	市町村	名 称	開催・上演日	掲 載 ペ ー ジ
1	朝日町	境の獅子舞	4 / 15, 10 / 15に近い日曜日	6
2	朝日町	笹川の獅子舞	4月第2土曜日, 8月第4土曜日	6
3	朝日町	平柳の獅子舞	10月第2土曜日	7
4	朝日町	草野の獅子舞	10月第2土・日曜日	7
5	入善町	新屋の獅子舞	10 / 15	8
6	入善町	栲山の獅子舞	10 / 14, 15に近い土・日曜日	8
7	入善町	東狐の獅子舞	10 / 15に近い土曜日	9
8	入善町	下山の獅子舞	10 / 14, 15に近い土・日曜日	9
9	宇奈月町	栃屋の獅子舞	10 / 17	10
10	宇奈月町	下立の獅子舞	10 / 21	10
11	宇奈月町	明日の獅子舞	4月, 10月の第2日曜日	10
12	黒部市	沓掛の獅子舞	9 / 24, 9 / 25	11
13	黒部市	朴谷の獅子舞	1 / 2, 8 / 14, 10 / 23	11
14	魚津市	小川寺の獅子舞	3 / 12, 10 / 12, 1月第4日曜日	12
15	魚津市	金山谷の獅子舞	3 / 16	12
16	魚津市	北鬼江の獅子舞	10 / 1	13
17	滑川市	加島町の獅子舞	5 / 21	13
18	上市町	広野の獅子舞	10 / 21	13
19	上市町	東種の獅子舞	4 / 18, 10 / 18	14
20	上市町	伊折の獅子舞	4月中旬, 8 / 16	14
21	立山町	浦田山王社の獅子舞	4月中申の日に近い土・日	14
22	立山町	宮路の獅子舞	4月第1日曜日	15
23	立山町	五百石下町の獅子舞	9 / 25	15
24	富山市	中老田の獅子舞	4月第4土曜日	15
25	富山市	中島の獅子舞	4月第4日曜日	16
26	富山市	宮保の獅子舞	4 / 2	16
27	富山市	有沢の獅子舞	4月第1土曜日	16
28	富山市(大沢野)	稲代の獅子舞	4月第2日曜日	17
29	富山市(大沢野)	笹津の獅子舞	4月第2日曜日	17
30	富山市(大沢野)	上大久保の獅子舞	4 / 10前の日曜日	17
31	富山市(細入)	楡原の獅子舞	4 / 15に最も近い土曜日	18
32	富山市(大山)	瀬戸・日尾の獅子舞	3 / 30	18
33	富山市(八尾)	鏡町の獅子舞	5 / 3	18
34	富山市(八尾)	大杉の獅子舞	4 / 9	19
35	富山市(八尾)	三田の獅子舞	4 / 10	19
36	富山市(八尾)	高熊の獅子舞	4 / 9	19
37	富山市(婦中)	下轡田の獅子舞	4月第2土曜日	20

開催・上演日は平成17年度調査による。

No.	市町村	名 称	開催・上演日	掲 載 ページ
38	富山市( 婦中 )	下井沢の獅子舞	4 月第 3 土曜日	20
39	富山市( 婦中 )	富崎の獅子舞	4 / 13の次の日曜日	20
40	富山市( 婦中 )	長沢の獅子舞	4 / 8	21
41	富山市( 山田 )	小谷三ヶ村の獅子舞	4 / 15	21
42	射水市( 新湊 )	朴木の獅子舞	4 月第 2 土曜日	22
43	射水市( 新湊 )	作道の獅子舞	9 月第 1 土曜日	22
44	射水市( 新湊 )	久々江の獅子舞	4 / 20 , 10 / 30	22
45	射水市( 新湊 )	江柱の獅子舞	5 / 15	23
46	射水市( 新湊 )	西奈呉の獅子舞	5 / 15	23
47	射水市( 新湊 )	中町の獅子舞	5 / 15	24
48	射水市( 新湊 )	横町の獅子舞	5 / 15	24
49	射水市( 新湊 )	四日曾根の獅子舞	5 / 15	25
50	射水市( 新湊 )	海老江中町の獅子舞	4 / 3	25
51	射水市( 新湊 )	堀岡東町の獅子舞	5 / 4	26
52	射水市( 新湊 )	六渡寺の獅子舞	5 / 14 , 10 / 6	26
53	射水市( 小杉 )	青井谷の獅子舞	4 / 14	27
54	射水市( 小杉 )	三ヶ錦町の獅子舞	5 月第 3 土曜日	27
55	射水市( 小杉 )	黒河の獅子舞	4 / 9	28
56	射水市( 大門 )	二口の獅子舞	9 / 8	28
57	射水市( 大門 )	串田の獅子舞	9 / 10	29
58	射水市( 下 )	「やんさんま」神幸式の行道獅子	5 / 4	29
59	射水市( 下 )	白石の獅子舞	4 / 3	30
60	射水市( 大島 )	赤井の獅子舞	4 月第 1 土曜日	30
61	高岡市	木町の獅子舞	9 月第 2 土曜日	31
62	高岡市	長江の獅子舞	10 / 9	31
63	高岡市	長慶寺の獅子舞	4 月第 2 土曜日	32
64	高岡市	守山の獅子舞	4 月第 2 土曜日 , 9 月第 2 土曜日	32
65	高岡市	二上射水神社のげんだい獅子 二上の獅子舞	4 / 23	33
66	高岡市	常国の獅子舞	10 月第 2 日曜日	34
67	高岡市	北島の獅子舞	9 / 10前後の土曜日	34
68	高岡市	吉久の獅子舞	10 月第 3 土曜日	34
69	高岡市	立野上町の獅子舞	9 月第 3 土曜日	35
70	高岡市	頭川の獅子舞	10 月第 2 土・日曜日	35
71	高岡市	伏木一宮氣多神社のニラミ獅子 伏木一宮の獅子舞	4 / 18	36
72	高岡市( 福岡 )	沢川の獅子舞	9 / 22	37
73	高岡市( 福岡 )	福岡三区( 下菘 ) の獅子舞	9 / 10	37

No.	市町村	名 称	開催・上演日	掲 載 ページ
74	氷見市	十二町の獅子舞	4月第3土曜日	38
75	氷見市	下田子の獅子舞	4月第2土曜日	38
76	氷見市	寺中の獅子舞	10月第2土曜日	39
77	氷見市	表泉の獅子舞	9月第3土曜日	39
78	氷見市	中村の獅子舞	9月第3土曜日	40
79	氷見市	論田の獅子舞	9 / 22	40
80	氷見市	岩瀬の獅子舞	10月第2土曜日	41
81	氷見市	上田の獅子舞	9月第3土曜日	41
82	氷見市	余川北側の獅子舞	4月第4土曜日, 9月第4土曜日	41
83	氷見市	森寺の獅子舞	4月第2土曜日	42
84	氷見市	小杉の獅子舞	4 / 17, 9 / 17	42
85	小矢部市	吉田町の獅子舞	5月第4土・日曜日	43
86	小矢部市	観音町の獅子舞	5月第4土・日曜日	43
87	小矢部市	中下新町の獅子舞	5月第4土・日曜日	44
88	小矢部市	愛鉄町の獅子舞	5月第4土・日曜日	44
89	小矢部市	小矢部町の獅子舞	5月第4土・日曜日	45
90	小矢部市	島分の獅子舞	5月第4土・日曜日	45
91	小矢部市	水牧の獅子舞	9 / 9	46
92	小矢部市	小森谷の獅子舞	4 / 10, 9 / 9	46
93	砺波市	太郎丸の獅子舞	9 / 23, 24	47
94	砺波市	苗加の獅子舞	10 / 16	47
95	砺波市	秋元の獅子舞	10月最終土曜日	48
96	砺波市	東石丸の獅子舞	10 / 30	48
97	砺波市	頼成の獅子舞	11 / 3	49
98	砺波市(庄川)	青島の獅子舞	3月第2土曜日, 9月第2土曜日	49
99	砺波市(庄川)	三谷の獅子舞	11 / 3	50
100	南砺市(福野)	本江の獅子舞	体育の日の前日	50
101	南砺市(城端)	吉松の獅子舞	10月第2土曜日	51
102	南砺市(城端)	南町の獅子舞	5 / 14, 15	51
103	南砺市(福光)	川原町の獅子舞	4月第3土曜日	52
104	南砺市(福光)	神成の獅子舞	11 / 3	52
105	南砺市(井波)	山下の獅子舞	5 / 2, 3	53
106	南砺市(井波)	院瀬見の獅子舞	3 / 29	53
107	南砺市(井口)	井口村の獅子舞	11 / 6	53
108	南砺市(平)	上梨の獅子舞	4 / 26, 27	54
109	南砺市(上平)	新屋の獅子舞	5 / 3, 4, 5	54
110	南砺市(利賀)	利賀上村の獅子舞	5 / 4	55
111	南砺市(利賀)	上百瀬の獅子舞	5 / 5	55

平成17年度

「とやまの文化財百選」選定委員会委員

加藤 享子

佐伯 安一

陶 智子

野積 正吉

藤井 一二（五十音順・敬称略）



編集・発行 富山県教育委員会 文化財課  
富山市新総曲輪 1 - 7  
電話 076 - 444 - 3456  
<http://www.pref.toyama.jp/>

発行年月日 平成18年 3 月

印 刷 (株)タニグチ印刷